

救急☆3分トレーニング

Vol. 27

救急課 高度救急研修センター



この「救急☆3分トレーニング」は、救急隊員が日ごろ疑問に思っていることや、知っているようで知らないこと、何となく他人に聞くのが恥ずかしいことなどを、分かりやすく、3分以内で解決するトレーニングです。

新しい隊員さんだけでなくベテランさんも、出動の合間にササッと御覧いただき、今後の救急活動に役立ててください。

★救急の歴史…救急救命士制度の創設（平成3年）



当時の日本では、救急現場や搬送途上における医療の確保、特に心肺停止の傷病者に対する応急手当が不十分であることが大きな課題となっていました。また、アメリカのパラメディック制度やフランスのサミューなど、病院前救急医療体制が確立されつつあった諸外国と比べ、救命率が低いことが指摘されていました。

その解決策として、消防庁では「ドクターカー方式」も検討されましたが、日本の医療の現状において、医師を救急隊に十分確保することが不可能であるという面から、厚生省（現：厚生労働省）と共に「救急救命士」制度の創設が進められました。それに伴い、教育機関に関すること、救急自動車の高度化、使用する器具の検討など様々な準備が行われ、平成3年4月に「救急救命士法」が制定（同年8月15日施行）されました。

月日が流れ、当時のことは忘れられつつありますが、救急救命士は、「日本の救急医療を良くしたい」との思いで創設に関わった多くの方々の努力の上に成り立っています。その職責の重さや市民からの期待の大きさを心に刻み、謙虚に、そして向上心を持って職務に励みましょう。